○	学級活動		生徒会活動		学校行事	別紙様式１

令和６年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	三次市立三次中学校	校　長	角濱　慶司	生徒指導主事	河村　昌子
取組事例名	『生徒同士の他者理解を深め絆を育てる構成的グループエンカウンターの実施』				

１　取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
令和６年度５月に実施した総合質問紙調査において、３年生の自己肯定感に関する肯定的評価が72.3%であり、特に「他者からの評価」が他の項目に比べて低かった。構成的グループエンカウンターの実施を通して、他者と関わる中で生徒間の絆を深めると共に、自己肯定感・自己有用感を高めることをねらいとして実施した。	**〇コミュニケーション能力** 自分の考えを持ち、他者の思いを受け止め、言葉で伝え合うことを通して、互いを理解し、認め合える生徒 **〇自己肯定感・自己有用感** 他者と協働する活動を通して自分が他者の支えになっていると感じ自身がかけがえのない存在だと認識すると共に、自他ともに大切にする生徒

２　展開

取組の具体的内容

【質問じゃんけん】
じゃんけんに勝つと相手に質問をします。相手の話をしっかり聞き、「そうなんだ！」「私もだよ。」と共感しながら話を聞く姿勢が見られました。

【他己紹介】
質問じゃんけんで聞いた情報をもとに、自分のペアを紹介します。「私の大切なペアの〇〇さんは～」と、相手を大切にする姿が印象的でした。

【サッカーじゃんけん】
チームで攻守に分かれ、じゃんけんをして最後のキーパーに勝ったら１点入ります。相手のじゃんけんに勝つと「ナイス！」など声があがり、とても盛り上がりました。

取組の創意工夫

生徒にめあてをもたせるために

活動前に、実施するエクササイズのねらいを生徒に伝え、活動の意図を明確に持たせると共に、他者の考えや思いを肯定的に受け止め相手を批判しないことを約束として確認した。

生徒の意欲を高めるために

緊張感をほぐし和やかな雰囲気で行えるように、ウォーミングアップを行う。グルーピングの際は、男女のバランスがよくなるように留意する。また少人数から大人数へと発展させるようにエクササイズを行う。

生徒の頑張りを認め、価値付けるために

活動中の様子から生徒の変容が見られた際に、それらを本人または全体に伝えることで価値付けを行った。また、活動の振り返りを適時行い共有することで、他者の思いに触れさせ、仲間に共感したり多様な考えに触れさせたりすることで、よりよい人間関係づくりを行えるように留意した。

３　成果と課題

本校のスクールカウンセラーである朝倉一隆先生と連携し、構成的グループエンカウンターの授業を行った。どの学年も笑顔と笑い声があふれ楽しい活動になったが、その中で「仲間のことが新たにわかって嬉しい」、「自分の存在を見ていてくれていたことに気付くことができた」等生徒のつぶやきが聞かれ、深い学びを得ることができた。また 11 月に実施した第２回の総合質問紙調査では自己肯定感の値が 73.8%と若干の向上が見られ、中でも他者評価に関しては 55.2%から 58.3%と向上した。特に他者評価において 7.5 ポイントの向上を示した生徒もおり、１回目で低いスコアを示していた生徒にその傾向は顕著に見られた。今後は生徒の実態を的確に把握し、ねらいをもって活動を継続的に行うことにより、生徒の自己肯定感、自己有用感を高めることで生徒間の絆を強めることができると考える。また、構成的グループエンカウンターの実施について、教員が学ぶことで今後も継続的に実施していきたい。